

(5) 検査の記録

主機の連続最大出力

kW

1359

(イ) 記事

第1回定期月検査

於) (株)三保造船所

H) 新造により第1回定期月検査を執行した。

本船は平水区域を航行する第2種船として建造され、船体強度計算に当っては軽構造船暫定基準及び軽構造船基準(案)に基づく。

その他諸設備、属具完備、各効力試験及び海上試運転の結果は良好。復元性資料及び操縦性能に関する資料を添付した。

平成5年9月24日 近畿 阿曾 薫

E) 新造船、主機、補機等は予備検査合格品を使用した。

プロペラ軸は1糎軸(SPI)を使用、各効力試験及び海上試運転結果良好

平成5年9月24日 近畿 白波瀬 徹

追記、回航のため別記のとおり臨時変更証交付した。

平成5年9月24日 近畿 白波瀬 徹

臨時検査

於) 中町港

回航のため本検査を執行した。

臨時変更証を交付した。

H.6. 8. 10 中国 瀬底治昭

第一種中固検査

於) (株)三保造船所常吉工場

H.5.) 船体部及び機関部、全般良好

諸設備、各効力良好

両舷主機関は、整備の手続き検査を行った。

H.6. 8. 20 近畿 太巻 豊和

(5) 検査の記録

(1) 記事

追記 回航のため別記のとおり臨時変更記を付した

4.6.8.30 近畿 太巻豊和

臨時検査

於：広島港

旅客室の椅子席を増設し、別記のとおり旅客定員を変更した。  
旅客定員変更にとはい救命浮器及び救命胴衣を追加と記載し、  
復原性資料についても修正承認した。

なお、海安第171号(平成5年10月25日付)により、客室最前列の  
座席にシートベルトを設置した。此、修正の一般配置図を添付した。

平成7年3月31日 中国 上光美彦

第1種中間検査

社)管運船行

H) 船体外部 良好 設備 良好 船具 良好 船具 良好

E) 主機 良好 左舷 良好 右舷 良好 左舷 良好 右舷 良好

主機 良好 右舷 良好 左舷 良好

プロペラ 良好 軸 良好 プロペラ 良好 軸 良好

4.7.8.9 木江 松元 幸彦

第1種中間検査

社) (株) 木曾造船

E) 主機 右舷 良好 左舷 良好 96/291 要目同じ

左舷 良好 九世 運輸局 へ 委嘱 他 継続 検査

計画 表 に 基 づ っ て 執 行 プロペラ 軸 抽出 (1 年

3 年) プロペラ 軸 取 外 した 旨 上 運 転 良

4.8.7.29 尾道 村上 雅彦

H) 船体 外部 良好 船具 良好 諸 設備 良好 船具 良好

各 船 具 良好

平成 8 年 7 月 29 日 尾道 渡辺 裕彦

(5) 検査の記録

主機の連続最大出力

kW

(イ) 記 事

定期検査

於) 木曾造船(株)

H) 船体内外 全般良好 諸設備 属具等適  
冬効力テスト 良

E) 右舷機は九州運輸局へ委嘱した。その他も  
継続検査計画表に基づき執行、発電原動機は  
フワウ軸 軸出しせず、取外せず。

平成9年7月1日

(H<sub>0</sub>)

第1種中間検査

於) (有) 平上造船所

H) 船体外部 諸設備 属具適。各効力テスト良好。

繰り上げ受検した。為「検査基準日 6月30日」に変更。

舵ベアリング部ブッシュ 新替えた。(両舷)

GMDFP船に移行した。(一般通信用無線電等

は、150MHz帯のVHF無線電話とした。)

E) 継続検査計画表に基づき執行す。

左舷主機関は、九州運輸局へ委嘱した。

フワウ軸 軸出しせず。フワウ軸 軸出しせず。

平成11年7月29日、フワウ軸検査を臨時指定した。

各効力テスト良好。海上運転実施良好。

平成10年3月30日 中国

(H)

第1種 中間検査

於) (有) 平上造船所

繰り上げ受検した。為「検査基準日 1月1日」に変更。

H) 船体外部 諸設備 属具適 冬効力テスト 良

E) 継続検査計画表に基づき執行 右舷主機関は

九州運輸局へ委嘱した。

#2 シングヘッドの吸気フリップ 取付けソフト 折損により

## (5) 検査の記録

### (1) 記事

破片をシソダ内に取り、各部破損のため、以下の部品を交換した。

ピストン #1, 2, 3

シソダカバ #2

シソダライナ #2

過給機 一式

メンテナンス 全数

・燃料噴射ポンプの封印を九州にて実施(14mm)

・プロペラ取外し、プロペラ軸板を出し 実施

「特1中の準備にて検査執行した。」

平成10年10月15日 中国

#### 第1種中間検査

於：木曾造船

#### Ⅱ) 船体上架

今回の検査において、以下の工事を実施した。

1. 船体中央部の西舷出入口に旅客昇降用ドラッグ装置(油圧式)を新設した。動力ユニットについては既存の設備(ファン用)と併用する。

2. 上記装置の新設に伴い、旅客船出入口の改造を行った。

3. 船尾甲板に係船機(電動)及び開係ピット等を新設した。

4. 上記の改造により(0.5t程度の軽荷重量の増加)復原性資料の変更を承認した。

Ⅲ) 主機についてはいしづか検査表による平成12年分(左舷機用取)を執行した。左舷機の周知検査は九州運輸局に委嘱した。プロペラ軸抽出せずプロペラ曲破により予備品と西舷とを交換した。

(5) 検査の記録

主機の連続最大出力

kW

(イ) 記 事

本改造により、一般配置図を差換えた。尚、改測により  
総トン数変更あり、国籍未定の為、旧トンにて記す。

平成11年12月9日 (辰通) (H)

臨時検査 於) 中谷造船

船主申し出により、逆転機10スプレーにボウ金と  
思われる異物の混入が認められたため、両舷  
逆転機を開放した。

右舷逆転機入力部インポートフランジASのベアリング  
結合部が摩耗していた。メッキ修正した。

左舷逆転機駆動軸側の調整用シムにかみ込  
みが認められた。シムを調整した。

(H) H.12.5.24 中国 (H)

第1種中間検査 於) 西平上造船所

H) 後部水平水中翼の縦フラットの前縁に亀裂発生  
補修(溶接)の上、ダブリング施工し、その他船体各部  
全般良好。諸設備属具適当。おかし所、良

(E) 主機関については、継続検査実施す。

今回、右舷機を陸揚げ整備す(九州へ委嘱)

艀内補修機実開放す。良

プロペラ軸抜出せず。各軸カ子不良。

平成12年12月19日

中国運輸局 (H)

臨時検査 於) 中谷造船株式会社

左舷主機関No.2連接棒足出し損傷等の修理のため  
本検査執行した。修理開放検査を九州運輸局へ委  
嘱した。主要交換部品を別紙の通り添付した。

## (5) 検査の記録

### (1) 記事

損傷箇所等の原因として恒常的な高負荷運転が推定されるため、今回、主機関負荷低減対策として両舷プロペラを交換した。880×1040 mm  $\Delta 120$ 海上運転を実施した。軽荷状態 4/4 26.4) ヲト、満載状態の 85% 4/4 25.3) ヲト。

原因調査及び今後の対策については指示検討するよう指示済み。

H13.3.21 中国 (H)

第1種中由検査

船) 木曾造船(株)。

標記検査執行中であるが、社内運転のため、別記のとおり臨時変更に交した。

H13.8.11 尾道 (H<sub>0</sub>)

H) 客室の変更、主機操装に付下記工事施工した。

① 客室変更。増設客室由椅子席 (6人掛) (21) 名増設。

船橋甲板後部椅子席 4人掛 8席 (計32) 増設。

国型式救命浮器 後部1台増設。

② 上甲板客室船橋外板(両舷)に棧梁窓用窓枠外新設。

③ 国型式救命浮器(FRP-20B) 10台徴収。2台新設。計10台(220人)

④ 救命服 (A-689C) 4台徴収。計24台。

⑤ 救命浮輪 (LB-25) 3台新設。計5台。

⑥ 復原性資料 調整に再手配した。

⑦ 旅客船の持続性試験に付資料手配した。

⑧ 一般配電回線、運転成績表添付した。

⑨ 船操回割約 3.1 秒とあり速力 27.3 kts。

⑩ 旅客定員 220 人に変更した。

(5) 検査の記録

主機の連続最大出力

kW

(イ) 記 事

一申付上げ受検の点検直基準日変更。

検査基準日「12月14日」

E) 船舶希望により、主機関を別メーカーのものと換装した。  
これに伴い、マリンギア、プロペラ、プロペラ軸も換装。  
詳細は不詳な件名表のとおり。

また、燃焼空気量を増やす為、吸気ファンを2台。  
自然風通風を2台追加した。

海工運転は、80%載荷状態で行った。

過給機圧力、排気ガス温度から推測すると、 $\frac{1}{4}$   
回転で、ほぼ100%のと思われ、 $\frac{1}{10}$ 回転においても  
きちんと回っており、過負荷状態で回ると考えらる。

発電原動機：クランクピンボルト、シリンダー付、  
セストンを取換え全数新替。

また海工運転成績書(陸工運転データを含む)を  
添付した。

平成13年9月14日 尾道(H<sub>0</sub>)

定期検査 於) (株) 木曾造船

H) 左舷Fr.21曲損及び亀裂発生したため、切替えた。  
諸設備、属具等適。各効力試験結果良好。

E) 主機関は、前回換装したため、船舶検査の方法  
2.3.1-2.(1)を準用し、効力試験のみとした。発電  
原動機クランクピンメタル及び面ベアリングメタル全数  
取替え。プロペラ(両舷)については、別添のとおり  
修理した。プロペラ軸抽出せず。各効力試験結果  
良好。巻末に主機関海上運転記録経歴簿を添付した。

平成14年8月28日

尾道海事事務所(H<sub>0</sub>)

## (5) 検査の記録

(イ) 記事

~~(H) 1980年1月1日~~



日 28 月 2 年 11 月 11